



芸術、工芸、デザイン、建築、音楽、文学、自然、地域、テクノロジー…

多様な文化の担い手が行き交う開館記念イベント

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

はじまりを祝う文化の祝祭

「MoN 祭」開催決定！

2026年3月28日(土)～4月17日(金)の21日間

2026年3月28日(土)に TAKANAWA GATEWAY CITY に開館となる、文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives (モンタカナワ: ザミュージアムオブナラティブズ、以下 MoN Takanawa)」(運営: 一般財団法人 JR 東日本文化創造財団)は、開館当日の3月28日(土)から4月17日(金)の21日間、開館記念イベント「MoN 祭 (モンフェス)」を開催いたします。本イベントは、「100年先に文化をつなぐ」をミッションとする MoN Takanawa に多様な文化人が集い、あらゆる文化を讃え、文化がはじまる瞬間を喜ぶ、21日間にわたる「文化の祝祭」です。



【MoN 祭のプログラムについて】

21 日間にわたる「MoN 祭」。多様な文化の担い手が集い、展示、パフォーマンス、プレゼンテーションなど、多彩な表現を通じて MoN Takanawa の開館を祝い、盛り上げます。

PROGRAM

3/29
MoN未来会議
文化創造のトップランナーが集い語り合う
多様なセッション

3/28-4/17
未来文化の門
32人の文化をつくる人々が参加する、
100年先につなぐ文化への門

4/1-4/17
MoN手しごとと屋台
日本の伝統工芸をつなぐ若き匠が手しごとを見せる
実演展示

4/4~4/5
登竜MoN
これからの文化創造を担うクリエイターを応援する
ステージプログラム

コラボレーションステージ
4/5 ×手紙文化×MoN
TOKYO FM「日本郵便 SUNDAY'S POST」公開収録

4/10-4/11 ×熊本県
熊本地震から10年。元気を届ける「くまもと復興文化祭」

1) 開館記念セッション「MoN 未来会議」

MoN Takanawa が掲げる「文化の実験」を体現する文化創造のトップランナーたちが一堂に会して、ディスカッションを繰り広げるセッションです。



■ オープニング～セッション1【12:00～12:50】

隈研吾（建築家）×日比野克彦（アーティスト）「未来の街の育てかた」

■ セッション2【13:00～13:40】

俵万智（歌人）×又吉直樹（お笑い芸人・作家）「言葉に出会うと、世界が変わる」

■ セッション3【14:00～14:40】

室瀬和美（漆芸家）×森星（モデル/tefutefuクリエイティブディレクター）「工芸と生きる、工芸と暮らす」

■ セッション4【15:00～15:40】

片岡鶴太郎（俳優・画家）×河合敦（歴史作家）「江戸に学ぶ、明日をソウゾウするヒント」

■ セッション5【16:00～16:40】

MoN TALK：MoN Takanawaの開館記念プログラムの見どころを語る

■ セッション6～クロージング【17:00～17:50】

千住明（作曲家）×千住真理子（ヴァイオリニスト）「心を音に変える感性の磨き方トーク&ライブ」

総合MC：クリス智子

開催日時：2026年3月29日（日）12:00～17:50

場所：MoN Takanawa 1F パークテラス 特設ステージ

座席：150席（10時より全プログラム整理券配布・各回入替制・自由席）

観覧無料

※席数は変更になる可能性があります

2) 文化の担い手の意志が集まるコンセプト展示「未来文化の門」

高輪ゲートウェイ駅から直結する2階メインエントランスに、来場者を迎える「未来文化の門」を設置します。また、文化の第一線で活躍する32名の著名人に「あなたが100年先に残したい文化は何ですか？」と問いかけ、それぞれが思う文化にまつわる私物を展示します。

来場者一人ひとりが“文化とは何か”を問い直し、自らが未来へ残したいものについて考えるきっかけを提供します。

参加者：青柳美扇（書家・現代美術家）、あの（アーティスト）、いとうせいこう（作家・クリエイター）、石川さゆり（歌手）、石黒浩（ロボット学者）、池辺晋一郎（作曲家）、宇賀なつみ（アナウンサー）、甲斐みのり（文筆家）、片岡鶴太郎（俳優・画家）、隈研吾（建築家）、栗栖良依（アーティスト）、ロッチコカドケンタロウ（お笑い芸人）、小宮山雄飛（ミュージシャン）、小山薫堂（放送作家）、篠原ともえ（デザイナー/アーティスト）、趣里（俳優）、辛酸なめ子（漫画家・コラムニスト）、橘ケンチ（パフォーマー）、夏木マリ、橋本麻里（学芸プロデューサー）、平原綾香（シンガーソングライター）、古田新太（俳優）、又吉直樹（お笑い芸人・作家）、松浦弥太郎（エッセイスト/クリエイティブディレクター）、松任谷正隆（音楽プロデューサー）、真鍋大度（アーティスト）、水野学（クリエイティブディレクター）、宮田裕章（データサイエンティスト）、室瀬和美（漆芸家）、森星（モデル/tefufefuクリエイティブディレクター）、山寺宏一（声優）、山中伸弥（生命科学者）（50音順）

展示期間：2026年3月28日（土）～4月17日（金）

場所：MoN Takanawa2F エントランスロビー

観覧無料

3) 日本全国の匠の技に会う「MoN 手しごと屋台」

16名の日本全国の匠、伝統工芸の担い手たちが週替わりで登場し、自らの制作風景である「手しごと」を披露するとともに、工芸品を展示します。

開催日時：2026年4月1日（水）～17日（金）10:00～19:00

開催場所：MoN Takanawa 1F パークテラス

作家在館日時：2026年4月4日（土）・5日（日）10:00～19:00／2026年4月11日（土）・12日（日）10:00～19:00

企画協力：川又俊明（Think-Sync inc.）

参加匠：

【南部鉄器・鈴木盛久工房】鈴木成朗／【三春張子・デコ屋敷大黒屋】橋本彰一／【上州座繰り・canoan】中野紘子／【江戸組紐・江戸組紐中村正】中村航太／【東京銀器・宗達アートクラフト】上川宗達／【中津箒】吉田慎司／【加賀水引・津田水引折型】津田六佑／【甲州印傳・印伝の山本】山本裕輔／【木曾漆器・未空うるし工芸】岩原裕右／【静岡挽物・挽物所 639】百瀬聡史／【伊勢型紙・型屋 2110】那須恵子／【京手描き友禅・一真工房】加藤洋平／【高山茶釜・翠華園 谷村弥三郎商店】谷村圭一郎／【紀州桐筆筒・家具のあづま】東福太郎／【肥後象嵌】稲田憲太郎／【薩摩ボタン・薩摩志史】室田志保

※在館日時は後日発表

4) ステージプログラム

日時：2026年4月1日（水）～17日（金）毎週末

開催場所: MoN Takanawa 1F パークテラス 特設ステージ

席数：50席（先着順 ※一部整理券配布あり・各回入替制・自由席）

■ 次世代の「文化の担い手」を応援する「登竜 MoN」

文化・クリエイティブ領域の活動で100年先につながる文化の種を蒔こうとしている人たちを MoN Takanawa が応援・発掘するステージプログラムです。

・登竜 MoN パフォーマンス



日本の文化を未来に向けて進化・深化させる若者たちによるステージパフォーマンス

日時：2026年4月4日（土）・5日（日）

出演：駒田早代、桂枝之進、チリカラ伍 ほか ※タイムテーブル等詳細は後日発表

・登竜 MoN ショートピッチ



いつか「文化」になるかもしれない、「100年後につなぎたい小さな文化」を多様なプレイヤーが発表するプレゼン大会

日時：2026年4月4日（土）13:00～14:30

出演：きむらかおり（コンビニ）、102so（旧町名）、市島晃生（食べ方）、中尾拓彦（終電で終点）、街角マチコ（テルミン）、大原絵理香（お化け屋敷） ほか

※詳細は後日発表

企画協力：マニアな合同会社

■ 文化の垣根を越えるコラボレーションステージ

・手紙文化×MoN Takanawa

TOKYO FM/JFN 全国38局ネット「日本郵便 SUNDAY'S POST」ラジオ 公開収録

TOKYO FMをはじめとする JFN 全国38局ネットで毎週日曜15時に放送中の手紙をテーマにしたラジオ番組「日本郵便 SUNDAY'S POST」とのコラボレーションで、公開収録を実施します。脈々と続

く手紙という存在を一つの「文化」として捉え、「手紙文化を100年先につなぐには？」というテーマをゲストとともに語り合います。

開催日時：2026年4月5日（日）13:00～14:30

出演：小山薫堂、宇賀なつみ、ゲスト（後日発表）

観覧無料



**SUNDAY'S
POST**

日本郵便 SUNDAY'S POST について

SUNDAY'S POST は郵便もおやすみの日曜日に開く“聴く郵便局”。

番組に届く手紙を通じ、日本各地にある、まだ知られていない

人・土地・ものや音...などたくさんの物語を紹介しながら、「手紙を受け取れる喜び」「手紙を送るワクワク感」「手紙に詰まった想い」をお届けします。

放送時間：毎週日曜日 15 時 00 分～15 時 50 分

放送局：JFN 全国 38 局ネット

・熊本県×MoN Takanawa

熊本地震から10年。前を向く文化を届ける「くまもと復興文化祭」



©2010 熊本県くまモン



©尾田栄一郎／集英社
©清和文楽新作制作事業実行委員会

2026年4月、熊本地震発生から10年を迎えます。ひとつの節目となるこの年に、復興に向かい力強く歩み続け、活気づく熊本県が新しい文化の創造拠点である MoN Takanawa のステージをジャック！熊本県出身の漫画家・尾田栄一郎氏による人気漫画「ONE PIECE」と県が連携して進める「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」。その一環として、170年前から受け継がれる農村芸能「清和文楽」と ONE PIECE がコラボレーションした人形浄瑠璃をはじめ、さまざまな熊本県にゆかりのある文化の担い手がステージパフォーマンスを披露します。熊本県PRキャラクター「くまモン」も登場し、会場を盛り上げます。次の10年、さらにその先の未来へ。熊本県から希望を届けます。

開催日：2026年4月11日（土）・4月12日（日）

出演：くまモン、人形浄瑠璃 清和文楽、中江岩戸神楽 ほか

※タイムテーブル・公演内容は後日発表

<MoN 祭開催概要>

- 開催日時：2026年3月28日（土）～4月17日（金）
- 会場/住所：MoN Takanawa（〒108-0073 東京都港区三田3丁目16-1）
- ご入場方法：入場無料、予約不要

主催：一般財団法人 JR 東日本文化創造財団

特別協賛：東日本旅客鉄道株式会社

<詳細>

・MoN Takanawa 公式ウェブサイト

<https://montakanawa.jp/>

<小山薫堂総合プロデューサー メッセージ>



3月28日、「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」が動き出します。

文化とは、人との出会い、そこから生まれる縁、縁を大切にする心の積み重ねが織りなすものです。この MoN 祭は、単なる開業イベントではなく「文化の種」を蒔く場に他なりません。伝統と革新、過去と現在と未来、そして日本と世界をつなぐ門こそが、まさに「MoN Takanawa」なのです。いよいよ日本の未来を照らす

文化の門が開きます。皆さんと共に、その瞬間に立ち会えたなら幸いです。

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」について

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問（問い）」の2つの意味が込められています。



公式サイト：<https://montakanawa.jp/>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよび SNS を通じて順次発信いたします。

※パース提供：JR 東日本

※2026年3月の情報を元に制作したものです。内容は今後変更となる可能性があります。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人 JR 東日本文化創造財団の登録商標です。

■一般財団法人 JR 東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。